

3. 浜松市の将来像・関連計画

■浜松市の将来像(上位計画)

- 浜松市総合計画は都市の将来像やまちづくりの基本的な考え方、それらを実現するための政策の方向性を示した計画です。
- 国土交通省が公表(平成26年7月)した「国土のグランドデザイン2050」の中で示された「コンパクト+ネットワーク」の考えに基づき、まちづくりの基本的な考え方として、「コンパクトでメリハリの効いたまちづくり」を掲げています。

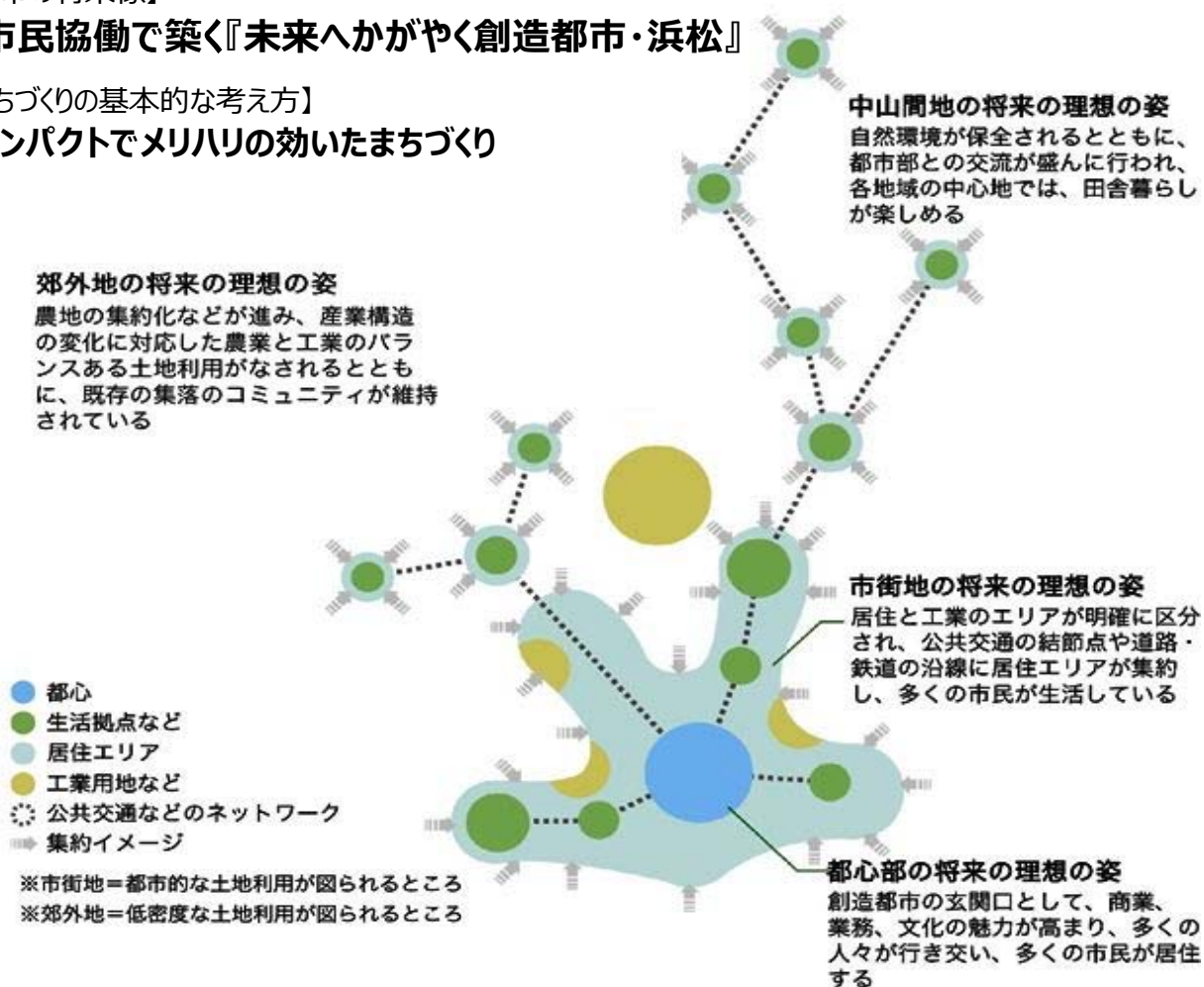
<浜松市総合計画>

【都市の将来像】

市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』

【まちづくりの基本的な考え方】

コンパクトでメリハリの効いたまちづくり



資料：浜松市総合計画(平成27年3月)

【分野別計画(道路交通関連施策)】

<安全・安心・快適>

- 公共インフラなどのハード整備、自然災害被害の低減
- 危機管理体制を強化、復旧・復興体制整備
- 基幹道路周辺等への居住推進⇒集約型の都市づくり
- 駅前広場整備など乗換利便性を向上
- 交通結節点機能強化
- 狭い道路の拡幅整備
- 道路・河川施設等の適切な維持管理、長寿命化
- 土砂災害警戒区域等対策や警戒避難体制整備
- 道路施設の老朽化対策、ユニバーサルデザイン化
- 自転車走行空間整備等道路環境の安全性の向上
- スマートインターチェンジの設置及び幹線道路の整備
- 市街地と高速道路とのアクセス性の向上や利便性向上
- 道路網の充実と地域の活性化

<産業経済>

- 住みやすく、歩行者や自転車に優しいまちなかの形成
- 都心居住者数の増加、浜松駅周辺エリアの活性化促進

【環境・エネルギー】

- 大気、騒音及び水質の環境基準を満たす取り組み促進

【地方自治・都市経営】

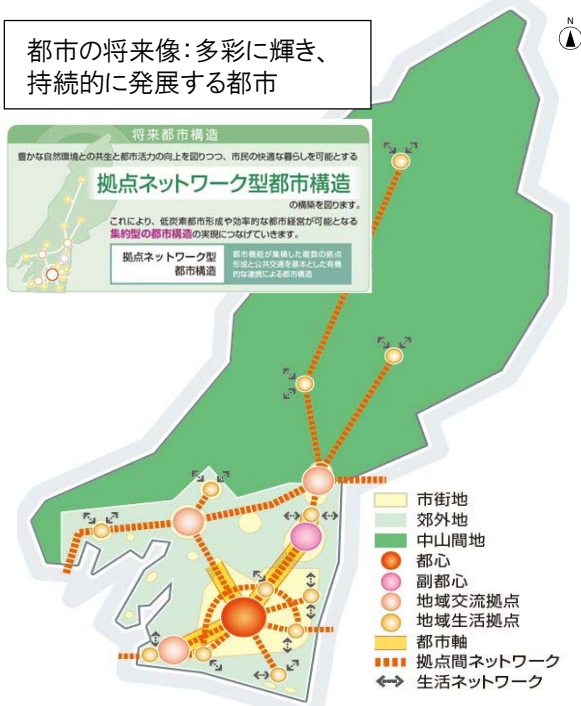
- 交通や道路、施設、情報などのエバーグリーン化促進
- 多様な人々が社会参加しやすくなる環境づくり

3. 浜松市の将来像・関連計画

■“つかい・つくり”に関する関連計画

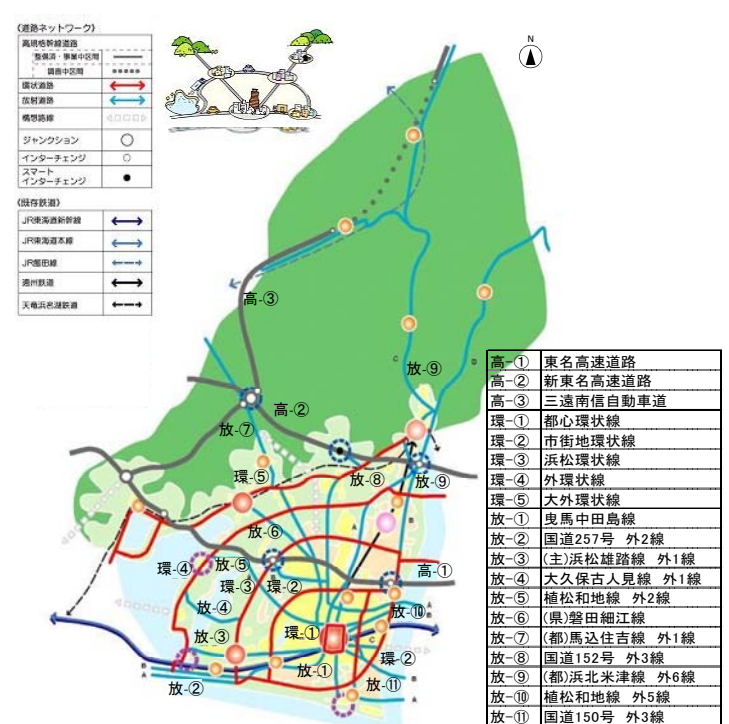
- ・浜松市都市計画マスタープランでは、将来都市構造として「拠点ネットワーク型都市構造」を掲げ、複数の都市機能集積拠点と公共交通を基本にした都市構造を表しています。
- ・浜松市総合交通計画では、拠点ネットワーク型都市構造を支える「3つの高規格幹線道路」と「5つの環状道路」及び「11の放射道路」による道路ネットワークの形成を掲げています。
- ・都市の骨格を形成する道路整備は、将来都市構造の実現を支えます。

<浜松市都市計画マスタープラン>



資料: 浜松市都市計画マスタープラン(平成22年5月)

<浜松市総合交通計画>

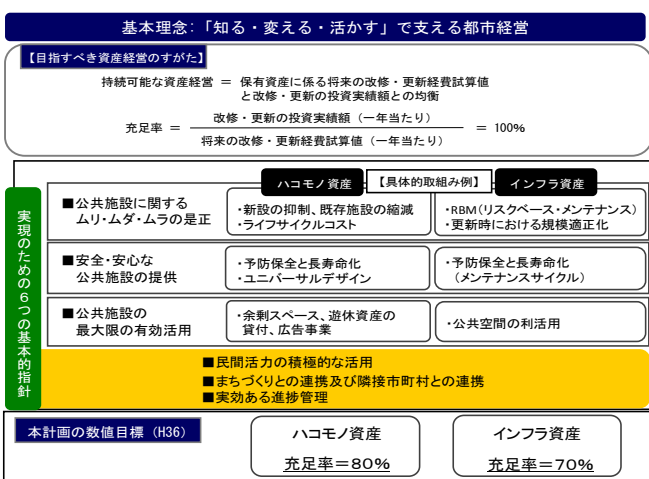


資料: 浜松市総合交通計画(平成22年5月)

■“まもる”に関する関連計画

- ・浜松市公共施設等総合管理計画では、限られた財源の効率的かつ効果的な活用による持続可能な資産経営実現のため、インフラ資産の予防保全と長寿命化等の基本的指針を掲げています。
- ・浜松市交通安全計画では、人優先の交通安全対策の更なる推進を図ることを目的に、機能分担された道路網の整備、交通安全施設等の整備、交通に関する情報の提供の充実等を推進しています。

<浜松市公共施設等総合管理計画>



<浜松市交通安全計画>

- 【主な施策】**
- (1) 生活道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備
 - ・生活道路における交通安全対策の推進
 - ・通学路等における交通安全の確保
 - (2) 高速道路の更なる活用促進による生活道路との機能分化
 - (3) 幹線道路における交通安全対策の推進
 - (4) 交通安全施設等の整備事業の推進
 - (5) 歩行者空間の平面化・バリアフリー化
 - (6) 無電柱化の推進
 - (7) 効果的な交通規制の推進
 - (8) 自転車利用環境の総合的整備
 - (9) 高度道路交通システムの活用
 - (10) 交通需要マネジメントの推進
 - (11) 災害に備えた道路交通環境の整備
 - (12) 総合的な駐車対策の推進
 - (13) 道路交通情報の充実
 - (14) 交通安全に寄与する道路交通環境の整備